

歯髄炎（根管）治療後のアフターケアについて Aftercare Following Endodontic (Root Canal) Treatment

予期されること What to expect

- 根管治療を受けた直後は、歯に不快症状があったり一様に鈍い痛みの兆候が生じることがあります。これらの治療後に生じる不快症状は、通常1週間以内に落ち着きます。
- 治療した歯は、噛んだ時のプレッシャーに敏感になり、ぐらぐらな感覚を伴うことがあります。この感覚は根幹治療をした歯の内部のものではなく、根管の先端の外側（骨の中で歯を支えている繊維）神経の先端の感じやすさの結果によるものです。この炎症はしばしば治療後およそ48時間後にピークを迎える可能性があります。
- 治療した歯に隣接した歯においては、温度差を感じることもあるかもしれませんが、治療した歯においては、熱いものと冷たいものに敏感になることはありません。
- 根管の入り口がつくられた場所に（後ろの歯の上面又は前の歯の背面に）へこんだりざらざら感を感じる場合があります。この場所には、場合によっては、次の来院までには磨耗してしまうほどの柔らかい一時的な素材が入っています。その一時的な素材が穴をカバーしている限り心配する必要はありません。
- 場合によっては、治療の数日以内に歯茎の組織上に小さな泡や吹き出物がでてくる場合がありますが、これは、歯の周りにあった細菌や炎症、圧力が消滅したことを意味します。このこぶは数日以内に消えます。

何をするか What to do

- 治療後1時間以内（治療時に施された麻酔がひく前）に鎮痛剤を買い、飲むことをお勧めします。イブプロフェン（Nuprin, Advil, Motrin）-600mg（3錠）です。もしくは、Aleve 2錠でも構いません（定められた適用量を守ってください）。
- もし、胃腸部の障害があるか、医療治療中であればイブプロフェンを避け、炎症を抑える特性は含んでいませんが acetaminophen（Tylenol, Excedrin）-1000mg が代わりになります。
- さらにひどい不快症状には上記の処方薬を2〜3時間おきに交互に飲むことをお勧めします（600mg ibuprofen, 2-3時間空けて、1000mg acetaminophen, 2-3時間後に再度 600mg ibuprofen, 等）。Vicodin と Tylenol #3 は acetaminophen を含んでいますのでイブプロフェンの代わりになりますが、一番ベストな薬はイブプロフェンです。これらの薬は全て食後に服用してください。
- 奥歯のためにも、治療した歯を修復するかクラウン（冠）をつけるまでは、できるだけいつも治療した歯と反対側の歯で噛むように心掛けてください。修復治療が終わるまでは、治療後の歯は弱く、折れる可能性があります。
- 歯の破損や一時的な詰め物が取れてしまうのを避けるためにも、歯にくっつくベタベタしたものや硬い食べ物などを、治療した周りの歯で噛むことは避けてください。
- 最近の調査では新しく埋めた根管でさえ、もし仮の詰め物がとれて無くなってしまうと1ヶ月以内に細菌感染してしまうことが示されています。従って、根幹治療後6週間以内にファミリードクターにおいて最後の修復治療を行ってください。

もしこのような場合には電話をください Please call us if...

- これらの症状が上記に記述したよりも長く持続したり、激しい症状を体験した場合。
- 手術後に著しい腫れに見舞われた場合。
- 仮の素材、詰め物が取り去られてしまったり、グラグラに感じたり、噛んだときに噛み合わせが高く感じた場合。
- その他ご質問があればオフィスまでお気軽にお電話ください。